

毎健新聞

訪問リハビリマッサージ

「あいさつ」

福岡マッサージサービスは、今年2008年4月より訪問マッサージ業務をスタートいたしました。

「訪問リハビリマッサージ」と聞かれても、ご存知ない方も多く、福岡では、まだまだ知られていませんが、関東・関西では、十数年前より地域に根付いたサービスとして、たくさんの方がご利用なさっているサービスです。2006年に介護保険制度の基、介護予防が認可と同時に医療法が改正され、在宅医療推進の方向で入院期間やリハビリ期間が大幅に短縮されました。そのため、患者が満足できるリハビリを受けづらくなくなってきているのが現状です。特に慢性期・維持期の患者の方へのリハビリが供給できない状況です。「訪問マッサージ治療」とは、そんなリハビリを受けられなくなった「寝たきり」あるいは「歩行困難」で自立通院が困難な方に、医療上マッサージを必要とする症例（筋麻痺・関節拘縮等）に対して、医師の同意があったことを証明する同意書を頂いた上で、各種医療保険制度を利用して在宅で受けられるマッサージ治療です。

仕事ができる分野であるからとあって自身がマッサージ師を仕事とすることはせず洋裁の仕事をやっています。

元気な頃、近所の方へ無償でマッサージしていた母ですが現在、認知症で山口県の老人施設へ入所しており、たまに私が会いに行っても名前すら忘れて口にすることはありませんが母に「ちよつと腕がおちとらんか揉んでみて」と言うとおちとらんか揉んでみて「と」と白く細くなった手で私の肩を揉み始め、まだまだたつて顔を覗き込んでくれます。子供の頃、夜なべした母に肩をもまされて「そこじやなか、ツボにしつかりあたつてなかよ」と怒られていた元気な母は怖かったのに、今は懐かしうたまりません。

母や祖父が持っていた思いを引き継ぎ、仕事に活かしていければと思います。

私自身、資格は持っておりませんが、ドライバークラス、相談員として有資格者のマッサージ師と一緒に訪問している毎日です。高齢者の方に接して、会話の中で教えられることも多く、障害をお持ちの方から、私たちの方が元気をもらったりする日々感謝しております。在宅介護の現場で、「寝たきりにしない・させない・つくらない」健康な毎日を送っていただけのように人と人の繋がりを大切に地域に密着し、社会貢献と向上心を理念とし、健康ライフを応援していくことをお約束します。

福岡マッサージサービス 代表 國崎 伴子

発行
福岡マッサージサービス
〒811-1344
福岡県福岡市南区
三宅2-3-14
電話092(542)6229
fukuoka@ttd1.net
繋がりを大切に
健康な毎日
応援します
EMS



利用者の声

古賀武さん六九歳（大野城市）

私は平成十二年に脳梗塞で右半身の麻痺になりましたが、幸いなことに四ヶ月間のリハビリで麻痺していた右手も全快し、多少の足の麻痺で日常生活や車の運転も支障なく好きな花作りをする日々を送っていました。平成十七年に椅子に座り損ね腰を打って、痛みも我慢できる程度でしたので気にもせず生活しておりましたところその時に腰を強打したことが原因だと思いましたが、二年前から足の動きがだんだんと悪くなり4月頃から足が動かなくなってきました。毎日一日も早く、以前のようになりたいので足で歩けるようになりたいとケアマネージャーさんに伝えていたところ、訪問リハビリマッサージを紹介していただきました。最初は、半信半疑で受けてみました。が、マッサージをやってもらおうとシビレが取れ、身体が軽くなりました。マッサージ師の養原さんが体

「訪問リハビリマッサージ」ってどんなサービス？

ご自身で施術所へ通院が困難な方に在宅にて(特別養護老人ホーム等生活の場も可)リハビリマッサージを定期的に受けていただけるサービスです。

歩行困難や寝たきりの方などが対象です。

・脳卒中後遺症、慢性関節リウマチ、パーキンソン病、廃用性症候群、大腿骨頸部骨折後遺症、変形性膝関節症など、その他医師によってマッサージ・リハビリが必要な疾患・症状を持つ方が対象です。

医師の同意書が発行された場合に保険が適応されます。

・手足の筋肉にマヒや関節の拘縮などの症状があり、医療上治療が必要と認められた方が対象です。

医療保険（健康保険）適応で費用負担が軽減されます。

・後期高齢者医療の方は一部負担金(1割)のみの費用です。
1回300円～500円(障害者二級以上の方は金助成も適応自己負担0円)

介護保険との併用ができます。

・要介護認定を受けた方も併用して医療保険が適応され、介護保険の枠とは違いますのでケアプランを圧迫することなく併用できます。

国家資格を持つ技術者です。

・あんま・マッサージ指圧師・東洋医学の厚生労働大臣免許所持者です。

・利用者の症状に合わせたリハビリマッサージを行います。

・経験豊富な技術者は様々な事例・症例を把握しています。

訪問範囲

・福岡市南区・中央区・博多区・城南区・東区
・春日市・大野城市・那珂川町・太宰府市・志免町
(その他の地区はお問い合わせください。)



医療保険でできる 訪問リハビリ マッサージ

足や腰の痛みのある方
歩行困難な方
身体のどこかに不自由のある方
障害者の方など
血行改善や筋力低下予防に
たいへん効果的です。

お試し無料体験 実施中



笑顔ライフ応援します!

安心してサービス開始していただくために、訪問リハビリマッサージを無料体験していただけます。
相談員が同行いたしますのでお気軽にお申し込みください。

お問い合わせ・お申し込み092-542-6229
訪問リハビリマッサージ 福岡マッサージサービス



障害を克服して

マッサージ師の 養原孝一さんは、十四年くらい前から糖尿病が悪化し、弱視の障害者です。すりガラスを通して見ている状態で、人の顔は識別できないが明るさは感じられるくらいの視力です。障害者になったご自身のことを語ってくれました。

一言が浮かびますね。家族の支えがあったので乗り越えられてきました。家族には感謝してもしきれませんね。

そして、もうひとつ私の心に活力を与えてくれたのが植物です。健康者の頃はまったく興味はなかったのですが、植物を育てること

で心が癒されていきました。国立視力センター卒業後、資格を取得と同時に、整形外科へマッサージ師として十年間勤務しておりました。その間、ありがたいことに患者さんから分けていただいた植物は、数えきれないほど今では庭中とこころ狭しと育っています。植物たちは、ものは言いませんが新しい芽をつけたり花をさかせたりと触った感覚や香りを楽しむことができ、育てることが楽しみですね。過ぎてみると、障害を受け入れて自分で克服するのに十年はかかりましたね。と穏やかな顔で話してくださる養原さんです。

勤めていた病院が不運にも閉鎖となり、自宅から当院が徒歩で三十分と近いこともあり縁あって福岡マッサージサービスに今年五月より勤めています。

朝5時半に起床、朝の散歩をし、日刊紙と日経新聞の見出しをルンベで見て気になる記事は奥様に読んでもらうのが日課です。政治・経済を始め、いろんなことに精通しており健康者顔負けです。

もちろん以前は病院勤務でしたし身体のことも人一倍詳しく、持ち前の勉強熱心さで東洋医学をしつかり学んでおり、当院の心強いマッサージ師です。

養原さんは、患った糖尿病の治療でインシュリンを一日一度、打って仕事をしておりますが、今の自分を『社会の一員として働けることが嬉しい』と言われます。中途失明という障害を克服して、一人の社会人として日々前向きでいる彼は輝いています。

毎健広場

川柳

お母さん 今日もかわらぬ 痴呆症 水崎 明美

クラス会 気分はいつも 高校生 岡本 洋子

いなりずし 食べてほしくて 初トライ 篠原 呂生子

秋きても 飽きがこないよ マッサージ 養原 孝一

老夫婦 いたわる姿 ほのぼのと 石橋 ゆかり

母の古い 訓えつもの 多々ありて 國崎 伴子

詩

幸せを感じることに

こだわり生きていこう

繋がっていることに感謝して

今日の幸せ感じて眠りにつこう

明日も幸せいっぱいだから

坂田 敏子

福岡市の地域包括支援センターの愛称募集に利用者の方々と応募してみました。

- 「げんきライフ」
「ライフらくセンター」
「こんぺいとうセンター」
「好朗門」
「地域老人支援センター」
「ニコニコセンター」
「よかぼ」と
「福岡市地域住民支援センター」
「老建生活センター」

この中から愛称が採用されたらいいですね。毎健広場では川柳や俳句・詩など皆様の投稿掲載いたします。(電話・ファックス092 542 6229まで)

みのさんの健康のタネ

東洋医学の健康にいいことコラム マッサージ師 養原孝一 「むくみと寒さ対策」

むくみとは、一般には「腫れ」で日常私たちが体験するのはふくらはぎに疲労に伴う膨張感です。

原因は過剰な水分が皮下に溜まる為です。脱水症の逆をイメージしていただくと、わかりやすいかと思えます。

1日の中で、午後4時から6時頃に体温の日内変動が生じ足がむくみます。それゆえ「夕方靴は買わない」と昔から言われているのです。

ふくらはぎのむくみ対策は新陳代謝を促進するために、仰向けに寝て自転車のペダル漕ぎの動作の運動をされると効果があり少しずつ解消されます。

身体にマヒのある方も介助してもらい、足首の上下運動だけでも動かすことにより改善されます。

寒さ対策には、今でも幼稚園などで行われている乾布摩擦が効果的です。皮膚を摩擦する事により表皮下の静脈の流れを促進して「免疫力」と「自然治癒力」が高まり風邪の予防にもなります。

また、厚手の洋服を一枚着るよりは薄手の洋服を何枚か重ね着する方が、空気の層が沢山できて断熱効果により体温消失が防げます。

体温の多くは首の付け根から奪われるので、首にマフラー(スカーフ等)をすると洋服一枚分の暖かさがえられます。

就寝時にタオル一枚首に巻いて寝ることもよいでしょう。風邪に対して、外出先から帰宅したら菌を受け付けないように口からと指からの菌をシャットアウトとしてあげることも大切です。

毎日の「うがいと手洗い」の習慣をつけましょう。手洗いに関しては最近では、薬局にジェル状や霧吹きタイプの殺菌・消毒剤がありますので、それを用いるのがよいでしょう。

寒さと風邪対策をしっかりやってこれかの季節過ぎましょう。



地域包括支援センターとは

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けることができるように、健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に最も適したアドバイスを行なうなど、高齢者が自立した生活を続けていくことができるよう応援してくれる行政の総合窓口です。

福岡市は各小学校区別28箇所、春日市は2箇所、大野城市1箇所太宰府市2箇所、筑紫野市4箇所那珂川町1箇所粕屋町1箇所・・・開設時間は月曜日～金曜日 午前9時～午後5時まで緊急の場合は時間外で電話での相談で受け付けてくれるそうです。

主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健士など専門のスタッフが連携し支援してくれるので安心です。

高齢者のいろんな悩み事や心配な事があつたら地域包括支援センター相談してみたいかがでしょう。

高齢者ご本人、ご家族の方の相談も可能でお住まいの地区の担当センターは市町村へお問い合わせされると教えてもらえます。